

「全国農業担い手サミット」が SAGAアリーナで開催されました

佐賀県では初開催
農業の未来を熱く語りました！



1月22、23日の2日間、「第26回 全国農業担い手サミット in さが」が開催され、意欲ある全国の農業者ら約1,800人がSAGAアリーナに集いました。1日目は、全国優良経営体表彰が行われ、佐賀県からは6部門中、「生産技術革新」や「6次産業化」など3部門で最高賞の農林水産大臣賞を受賞！式典後は県内6地区に分かれて交流会、2日目には現地研修会が催され参加者は、きゅうりやいちごのトレーニングファーム、優れた経営を実践する農業者などを視察しました。農業を未来につなぐ担い手たちは先進的な取り組みに刺激を受け、情報や知識を交換しながら交流を深めていました。



令和6年度佐賀さいこう表彰(女性活躍部門)！

企業、NPO法人での活動、地域活動など、さまざまな分野で個性や能力を活かして活躍している女性や、女性たちの活躍を支える企業を表彰しました。今後も、女性がより一層活躍できる佐賀県を目指します。



石本さん 山口祥義 佐賀県知事 音成さん 伊万里ケーブルテレビジョン株式会社

いしもと あい
石本 愛さん(タレント)

伊万里市在住で、九州各県のテレビ番組などに出演。メディアを通じて佐賀の素晴らしさを発信し、地元発展に貢献。

おとなり あみ
音成 亜美さん(旅館あけぼの 代表取締役)

老舗旅館のデジタル化で業務効率化、おもてなし力向上を実現。「ムーンライトシネマSAGA」など街なかイベントを企画し、地域の盛り上げに貢献。

伊万里ケーブルテレビジョン株式会社

非正規雇用者の正社員化や時差出勤制度の利用範囲拡大など、誰もが働きやすい職場の視点で改善。昨年、初の女性代表取締役を選出。

都道府県初



県の取り組みが 「ノウフク・アワード」で受賞！

障がい者などが、農林水産業の分野で活躍する農福連携を表彰する「ノウフク・アワード2024」で、5年以内の取り組みが対象の「フレッシュ賞」を佐賀県が受賞しました。都道府県の受賞は初！専任のコーディネーターの丁寧なマッチング支援で、農家と福祉事業所とのマッチング数が増加。また、マッチング支援を行う人向けに、支援方法を詳しく解説したマニュアル本を作成するなど、きめ細やかな県独自のサポートが評価されました。農業と福祉の双方が「HAPPY-HAPPY」の関係をつくる農福連携が、さらに広がっていくことを期待しています！

農福連携で「ハッピー」に！



県農福連携コーディネーター
ふじと さゆり
藤戸小百合さん

農福連携についてはこちら

農福連携の事例



労力が足りず、収穫物を破棄していたトマト農家が計画的に出荷できるようになりました。管理作業に手が回るようになったことで品質も向上。結果的に福祉事業所の出来高もアップし、好循環につながりました。

佐賀の元気をピックアップ 地域HOT通信

J2で優勝して再びJ1へ！サガン鳥栖を熱く応援しよう

ONE HEART



14年ぶりにJ2で戦うことになったサガン鳥栖の新シーズンがスタートしました。新監督にこざく あきお 小菊 昭雄監督、新戦力として16人が加入。また、サガン鳥栖のJ1初昇格に貢献し、2024シーズンをもって現役を引退した元日本代表の豊田 陽平さんがクラブスタッフとして就任しました。

2025シーズン新ユニフォーム！



公式サイトはこちら

新体制で迎えた今季のスローガンは「ONE HEART」。クラブ、ファン、サポーター、スポンサーなどサガン鳥栖ファミリーが「心を一つに今年1年でJ1復帰に向けて突き進みたい！」という思いが込められています。昇格の喜びを分かちあうその日、その時に向かって全力で応援しましょう。頑張れサガン鳥栖！

監督



小菊 昭雄さん

ピンチはチャンスという言葉があります。まさにサガン鳥栖は今がその時だと思っています。今シーズン優勝してJ1に復帰します。必ず強いサガン鳥栖をお見せします。

新加入！



サガン鳥栖U-18出身
あんどう としき
安藤 寿岐さん
(多久市出身)

筑波大学から加入しました安藤 寿岐です。サガン鳥栖が本来いるべき場所に1年で戻れるよう、全身全霊で戦います。今シーズンも熱い応援よろしくお願いします！

佐賀のみなさま、お久しぶりです。4年ぶりに戻ってきました豊田 陽平です。またみなさまとともに、佐賀を盛り上げていきたいと思っています。スタジアムでお会いしましょう！



豊田 陽平さん

石川県の中高生の水泳合宿を受け入れました



すばらしいプールで泳いであっという間に、気持ち良かったです！



詳しくはこちら

1月11日～13日、令和6年能登半島地震で被災した石川県七尾市のこどもたちの水泳合宿がSAGAアクア(佐賀市)で行われました。これは、日本スポーツツーリズム推進機構、金沢文化スポーツコミッションと連携して、県が中高生7名を受け入れたもの。被災したプールは今も使用できず、七尾市外のプールに通うなど限られた練習しかできないこどもたちは、思い切り水泳ができる環境にとっても喜んでいました。県内関係者の協力のもと、12日にはSAGAアクアで開かれた競技会に特別枠で出場。また、佐賀ならではの熱気球の係留飛行も体験しました。これからもSSP構想のもと、スポーツのチカラをすべての人に届けていきます！

